

科目名	徒手理学療法学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科4年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
理学療法士は臨床において徒手療法を実施する場面も多い。 徒手療法には様々な方法があり、この授業ではそれらの基礎の習得を目的とする							
〔授業全体の内容の概要〕							
PNF、スポーツ、腰痛に対する理学療法を中心に実技を交えて行う							
〔講師の実務経験〕							
みきやまりハビリテーション病院にて主に脳血管障害に対して12年間理学療法士として従事する。							
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕							
各項目における基礎的な知識と実技を習得する							
回数	講義内容						
1	腰部下肢骨盤帯の解剖学と運動学 触診を含めた基礎的実技						
2	問診とスクリーニング						
3	検査(神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査)						
4	治療(モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導)						
5	PNFの理論						
6	PNFの実践						
7	スポーツにおける徒手療法						
8	スポーツにおける徒手療法						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】							
定期試験にて評価する。							